

健やかな体と体力づくりプロジェクト

【目指す子どもの姿】

〈進んで運動(遊び)し、体力を高める子〉 〈安全についての正しい知識をもちけがを回避する子〉

【体力向上の取組】

休み時間の運動(遊び)の機会を増やすために、①遊び道具を設置し、安全体制を整え、ホッピングや一輪車・竹馬遊び、ボール遊び、鬼ごっこ遊びなど多様な遊びができる環境をつくった。②2ヶ月に1回の遊び紹介「青空スポーツ道場」で体力や巧緻性、柔軟性を培うような運動(遊び)を紹介し、休み時間に推進した。普段しないような動きをすることで、楽しみながら様々な運動に挑戦する子が増えた。児童アンケート「休み時間にたくさん体を動かしていますか」において、1学期は83%、2学期は78.4%の子どもが肯定的な回答だった。



今年度開放した前庭

〈今年度の体力テスト 県平均値、前年度値との比較 ○上回った ×下回った〉

項目名	体力要素	県平均値との比較											
		男子					女子						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
・握力	筋力			○	○	○	○			○	○	○	○
・上体起こし	筋持久力			○	○	○	—			○	—	—	—
・長座体前屈	柔軟性			—	×	○	○			—	—	○	—
・反復横とび	敏捷性			○	○	—	—			—	○	×	○
・シャトルラン	全身持久力			○	○	○	×			×	○	×	×
・50m	スピード			—	○	○	○			—	○	○	○
・立ち幅跳び	筋パワー			×	○	×	○			×	×	×	○
・ボール投げ	巧緻性			×	×	—	—			—	—	—	—

【安全意識を高める取組】

毎月、3日を「命と安全の日」として、けがの予防と安全な学校生活について意識付けを図った。「安全の日」のコーン設置や合言葉により、廊下歩行の安全を意識させるようにした。全校で指導の統一を図ったことは効果的に働き、子ども同士が、注意し合う姿も少しずつ増えた。また、校内の回覧(オンラインシステム)でけがの様子



学年安全集会の実施



コーンの設置

を伝えたり、安全指導資料を添付したりした。学級指導に生かすことで、安全意識を高めることができた。

2月の「安全の日」には、各学年で「学年安全集会」を実施した。「どんな時にけがをするか」「安全に生活をするようにするにはどうしたらよいか」などを、スライドを用いて具体例を挙げながら子どもに考えさせた。1月までの見附小学校でのけがの数が1000件を超えていることを知った子どもたちからは驚きの声が聞かれ、これからの安全な学校生活について考えるきっかけとなった。

【成果と課題】

休み時間の運動(遊び)を奨励したことは、今まで休み時間に体を動かさなかった子どもたちに、運動に親しむ機会を与えた。しかし、まだ子どもへの働きかけが弱い部分もあり、あまり運動に関心を示さない子どももいた。また、器械運動や水泳学習など、苦手意識が強い子どもがいることから、「これだけはできるように」という到達度を種目ごとに全学年で設定することで、子どもが目的意識をもって運動に取り組むことができると考える。